

# JWF Water Journal



from Bali, Indonesia

編集協力 日本水道新聞社

第10回 世界水フォーラム 速報

Vol.5

2024年5月24日(金)

## 水への思いをつなぐ心と文化



### ジャパンパビリオン・瀬祭ナイト 京都世界水大賞受賞者招きトークセッション

世界水フォーラムの会期中、特別協賛の旭酒造の協力による「瀬祭ナイト」(ジャパン・ナイト)が「Sound Water Cycle: Leading to Shared Prosperity」をテーマとする日本パビリオンブースで3夜連続で行われました。国内外で人気の「瀬祭」の純米大吟醸酒を来場者に振る舞い、日本酒の文化を世界に発信しつつ多様なつながりを形成するサロンとして大きな役割を果たしました。

最終日の23日には、「Why Water? Why Grass-Roots?」と題したスペシャルトークセッションを開き、2024年ストックホルム水大賞の栄誉に輝いた東京大学の沖大幹教授が司会を務め、旭酒造の桜井一宏社長、2024年京都世界水大賞を受賞したインドネシア・Youth Sanitation Concernのイファ・レミさんらをスピーカーに招き、世界水フォーラムの参加

者は、水の話肴に日本酒を楽しみました。

受賞団体のYouth Sanitation Concernは、衛生に関する啓発を行う若者の組織です。手洗い、衛生施設の管理、月経への対応の啓発、管理の行き届いた衛生施設の運営などを若い世代ならではのオンラインとオフライン手法を用いて展開しています。

瀬祭ナイトでは、これらの活動の内容とともに、つながりの創出やコミュニケーションスキルの工夫、ユース世代ならではの課題認識等について紹介されました。

### 水需要家としての思い

京都世界水大賞の授賞式は24日の世界水フォーラム閉会式で行われます。23日の瀬祭ナイトは、授賞式の前夜祭として、受賞者であるレミさんの人柄、京都世界水大賞のトップスポンサーである旭酒造

の思いを知る場にもなりました。

旭酒造の桜井一宏社長は、「清廉で安定的に水を手に入れることができることへの感謝を胸に、我々水需要家も社会へと積極的に接点を持ち、グローバルで環境のことを考えるのが大事だと思います。ジャパンパビリオンを訪れる人々に我々の理念や酒造りへの想い、日本の文化を理解いただくともに、私たちも積極的に社会につながりを持つこと、そうした相互理解の場としてジャパンナイトのスポンサーをしたいと思います」と語ります。イファさんに対しては、「皆が幸福で余裕を持つことのできる社会の形成につながると思う」と若い世代の行動に敬意を表しました。

瀬祭ナイトには日本からの参加者も顔を揃え、水に思いを馳せ、行動する世界中の人々との交流を深める場となりました。